

# 第5回草津市図書館を使った調べる学習コンクール

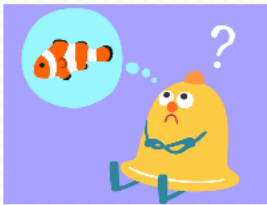
## 応募規定

- **サイズ**：小学生はB4サイズ（八つ切りサイズも可）
- **ページ数**：1ページ以上 50ページ以内  
※表紙、目次、参考・引用文献一覧は別に作成してつけたすこと
- **作品表紙**：タイトル・学校名・学年・組・名前を記入
- **応募方法** 8月29日（月）までに担任の先生に出しましょう。
- ★テーマは自由です。
- ★作品は、応募者自身のオリジナル作品に限ります。
- ★他のコンクールとの二重応募はできません。
- ★全国コンクールで入賞した作品の著作権は、公益財団法人図書館振興財団に帰属します。

## 図書館を使った調べる学習コンクール（取組資料）

【公益財団法人図書館振興財団 HP より作成】

### ● さあはじめよう「調べる学習」の4つのステップ



#### 1. テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう！



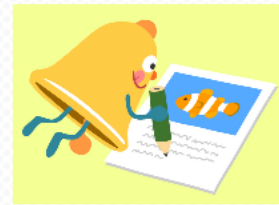
#### 2. 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。



#### 3. もっと調べる

まちや自然のなかにもでかけよう！図書館では調べきれない発見があるよ。考えたことをメモしておこう。



#### 4. 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを教えてあげるつもりでまとめよう。

[どこでなにを調べたか、参考文献を書こう](#)

## 1. テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう。

### ① 身のまわりをよく見よう

生き物、草花、食べ物など、生活の場には調べるテーマがたくさん。家族や友だちとの会話や、新聞・テレビ、教科書の中にもテーマが隠れているかも。

### ② 「どうしてかな？」と疑問の形で考えてみよう

「雲の形はどうしてみんな違うのかな？」「ダンゴ虫はなぜ丸くなるの？」「なぜかな？」「どうしてだろう？」と考えてみよう。ふしぎな気持ちが大きくなっていきます。

### ③ 比べてみよう

自分が住んでいる土地ではこうだけれど、ほかの場所ではどうなっているかな？ 今と昔など、比べ

てちがいに気づくと、調べたくなってきました。

#### ④ 仮説をたててみよう

答えを予想して仮説をたててみよう。テーマによっては、頭の中も整理されて、どこでどう調べればよいかかわってきます。

#### ⑤ とりあえず、テーマを決めよう

おおまかなテーマしか思い浮かばないときは、少しだけそれを調べてみよう。自分が本当に興味を感じるテーマがきっと見つかると思います。



## 2. 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。

### ① 図書館に行ってみよう

図書館は知識の宝庫です。書棚をながめて、テーマに関係した本やパンフレット、新聞記事をさがそう。

### ② 司書さんに聞いてみよう

本が見つからない時は、司書さんに相談してみよう。関連した本の見つけ方、調べ方を教えてくれます。

### ③ 百科事典は強い味方

まずは百科事典にあたってみよう。関連した事柄がわかって、そこから調べることが広がっていきます。

### ④ 複数の資料をくらべてみよう

本を読み比べてみよう。書いてあることが違うかもしれません。

### ⑤ 図書館での関連の講座に参加しよう

調べる学習のやり方は、学校の授業のほかに、図書館でも教えてくれることがあります。家の人や友達ちと行ってみよう。

**作品には調べた本（情報源）を必ず書いておきましょう。**

「〇〇という本にこういうことが出ていました」ということを、調べながら書きとめておきましょう。インターネットの情報は、URL（ホームページの住所のようなもの）と検索した日付も忘れずにメモしてください。

## 3. もっと調べる

まちや自然のなかにもでかけよう！ 図書館では調べきれない発見があるよ。

考えたことをメモしておこう。

### ① 実験しよう、観察しよう

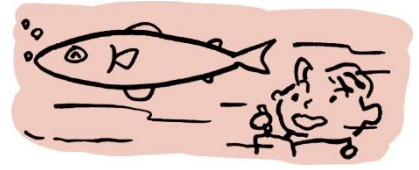
植物や昆虫、動物などを調べるときは、観察や実験も良い方法です。どんな方法で行い、何がわかっ

たか、結果も含めて記録しておこう。

## ② 博物館・動物園・資料館に行こう

実物にふれたり、専門の資料などを見ると、ものの見方や考え方が広がります。

そのときの自分の気持ちもメモしておく、まとめるときに役立つ！



## ③ 人の話も聞いてみよう

身近な人へのインタビューやアンケート調査も有効です。専門家などに手紙を出すと、疑問にこたえてもらえるかもしれません。もし、会えることになったら、あらかじめ質問をまとめておこう。

## ④ そして図書館へ

図書館の外で色々調べてわかったことを、もう一度図書館に戻ってたしかめてみよう。新たな発見があるかも。

# 4. 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを伝えるつもりでまとめよう。

## ① なぜ、そのことを調べたいと思ったのかな？

まず「どうしてこのテーマを選んだのか」、そのきっかけを書こう。「こういうことに疑問をもったからなんだ」と読んだ人に伝わるだけでなく、自分でも「このテーマを選んだ理由」をしっかり意識できます。

## ② なにをどうやって調べた？

どのように調べていったのか、そのみちすじを読む人に伝わるようにまとめよう。

## ③ 目次をつくろう

説明しやすいように、メモをならべかえて目次をつくろう。全体のストーリーを考えるのにまよったら、だれかに読んでもらって、わかりやすい組み立てを目指そう。

## ④ どこでなにを調べたか、参考文献を書こう

調べるときに使った図書館や本を書こう。このときにもメモが役立つ！

## ⑤ 調べてわかったことに対して、どう考えたか？

自分が思ったこと、考えたことを自分の言葉で書いてみよう。調べる前と、後で考え方が変わった点も書こう。

## ⑥ タイトルはとっても大事！

自分のテーマが伝わるようなオリジナルのタイトルをつけてみよう。

